

土のうの遮水不完全

淀川
河川事宇治川
事故
宇治市、回答に不満

宇治川塔の島地区の河床掘削工事での仮設締切堤の流出について国交省の淀川河川事務所は28日までに久保田勇市長宛ての回答書を提出。その内容について市は市議会の建設水道常任委員会で明らかにした。

のう積みの遮水が不完全だった点、ピラミッド型であるべき土のうを直列に積み上げた個所があった…などの事実を確認し、これらが原因になった可能性がある」と推定した。

とを約束。宇治川改修について「15年度の完成年度に遅れることのないように努める」とした。

提出。その内容について市は市議会の建設水道常任委員会で明らかにした。

今後については再発防止策と併せて不測時の情報連絡体制などの徹底について関係機関と協議するほか、同事務所としても設計段階におけるチェック体制や施工段階における監督の強化などを図るこ

とを約束。宇治川改修について「15年度の完成年度に遅れることのないように努める」とした。

同事務所は仮設締切堤について「土堤十土のう構造を採用したが、土堤部分を工用道路として使用するため、高さを低く設計したため、水位上昇により土

今後については再発防止策と併せて不測時の情報連絡体制などの徹底について関係機関と協議するほか、同事務所としても設計段階におけるチェック体制や施工段階における監督の強化などを図るこ

与野党委員からの不十分さを指摘する声に呼応し、川端修副市長は「なぜ市への連絡が遅れたのかの記載がなく、これではとても納得できない。原因も推定となっていない。もつとあらゆる角度から究明すべき。今回の資料に満足していない」と応じた。